

の、防煙教育の重要性があらためて認識されます。

<その他の最近の報告>

KKE24a 「世界の疾病に最も寄与する因子の一つに、20年前も現在も喫煙がある」

Lim SS等、Lancet. 2013 Dec 15;380(9859):2224. PMID: 23245609

KKE24b 「ニコチン依存症におけるヒト脳mGluR5受容体の重要性」

Akkus F等、Proc Natl Acad Sci USA. 2012 Dec 17. (Epub ahead) PMID: 23248277

KKE24c 「ADHDの喫煙者は離脱症状やニコチン依存が強く禁煙が難しい」

Kollins SH等、Psychopharmacology (Berl). 2012 Dec 18. (Epub ahead) PMID: 23247366

KKE24d 「カナダの若者は平日のみ喫煙する者も多く、学校での防煙教育が重要である」

Cole AG等、Addict Behav. 2012 Oct 8;38(3):1610. PMID: 23254206

KKE24e 「ニコチン受容体の遺伝子多型と禁煙効果について」

Bergen AW等、Pharmacogenet Genomics. 2012 Dec 14. (Epub ahead) PMID: 23249876

KKE24f 「アルツハイマー病関連遺伝子APOE ε4を持つ喫煙者は禁煙しづらい」

Ashare RL等、Pharmacogenomics J. 2012 Dec 18. (Epub ahead) PMID: 23247396

KKE24g 「喫煙は再発性腰椎椎間板ヘルニアのリスク因子である」 ; 日本からの報告

Miwa S等、J Spinal Disord Tech. 2012 Dec 14. (Epub ahead) PMID: 23249886

【週刊タバコの正体】

2012/12

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 23

- (No. 321) 第14話 健康な肺と病気の肺
- (No. 322) 第15話 COPDと氷山の一角
- (No. 323) 第16話 プレーン・パッケージング
- (No. 324) 第17話 勤務時間内禁煙

URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。



毎週火曜日発行

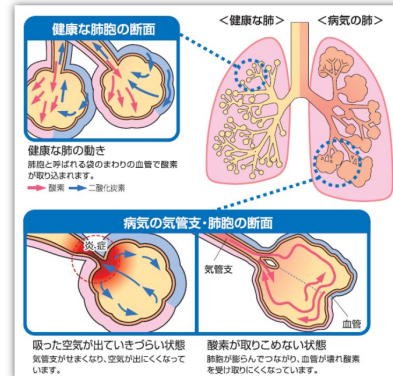
Serial number 321 第14話
 週刊 タバコの正体

長年タバコを吸い続けると、かなりの確率でCOPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気にかかります。この病気になると、肺が縮む事も進む事もできなくなるので酸素の補充、酸素ポンプへの駆付を待たなければ呼吸ができなくなります。では、なぜそんな状態になってしまうのでしょうか。

下の図を見てください。タバコの煙に含まれる有害物質によって、肺細胞と呼ばれる小さな袋が縮んで隣接する肺細胞同士が繋がってしまい、肺全体が縮んでしまっています。そして肺細胞の周りの血管も壊れるので、酸素を取り込みにくくなります。

こんな事になるのを知らないで、タバコを吸い始めた人がかわいそうです。

産業デザイン科 奥田 恭久



7414~株式会社
 「COPD完璧マニュアル」より引用